

平成31年度 学校教育目標・学校経営の基本方針 【構想図】

教育目標： 健やかで、確かな学力と豊かな心を身につけ、未来を力強く切り拓く
 子どもの育成 スローガン～「夢・チャレンジ・仲間とともに」～

学 校 経 営 の 基 本 方 針

教育理念 ・人間尊重の精神 ・すべては子どものためにある ・地域とともに歩く

- 1 児童一人一人の人権と教育的ニーズを大切に、徳・知・体の調和のとれた児童を育成するために、認め・ほめ・励まし・叱り・伸ばす教育に努める。また、特性を持った児童に関しては、外部関係機関と積極的に連携する。【人権・インクルーシブ教育】
- 2 「命を預かる」ことの危機意識を持ち、児童の安全確保及び学校の安全管理の徹底に努める。【安全・防災教育】
- 3 学校と家庭・地域社会でのコミュニティ・スクール(学校運営協議会)との「連携・協働」のもと、地域の方々と児童の生きる力を育成する。【コミュニティ・スクール】
- 4 一人一人に確かな学力を保障していくために、ICTを活用し児童が主体的・協働的に学ぶ対話型授業の実践を組織体として取り組む。【ICT活用による授業改善】
- 5 桜山スタンダード(授業、生活、集会の当たり前)の周知・徹底を図る。【当たり前】
- 6 自主的な話し合いの場や異年齢による活動の充実を図り、支持的集団を築く。
- 7 働き方改革に着手する。【働き方改革】

めざす学校像	こんな子どもに	めざす教職員像
1 活気あふれる開かれた学校 2 礼儀正しく秩序ある学校 3 整備された美しい学校 4 保護者・地域に開かれた学校	1 思いやりのある子(徳) 2 進んで学習する子(知) 3 明るくたくましい子(体)	1 教育的愛情と人権感覚を磨いていく教師 2 使命感と向上心を持ち、組織の一員として実践する教職員 3 児童・保護者・地域社会から信頼される教職員

学 校 経 営 の 柱

「思いやりのある子」の育成	「進んで学習する子」の育成	「明るくたくましい子」の育成	支持的集団づくり
1 すべての教育活動における人権教育の充実 2 道徳教育の充実 3 交流教育の充実 4 いじめ・不登校への対策強化 5 異年齢集団での活動の充実 6 質の高い読書活動の推進	1 ICTを活用した授業改善 2 「あらおベーシック」の授業展開 3 学習規律の徹底 4 学力向上対策プランの確実な実施 5 個に応じた指導の充実 6 家庭学習の定着	1 課題体力の向上 2 校内外の生活規律の定着 3 防災教育の充実 4 体と心の健康教育 5 食育の推進 6 メディア・コントロール力の向上	1 特別活動リーフレット(国立教育政策研究所作成)の活用 2 年間計画に沿った学級活動の実施 3 異年齢の関わり合いを深める児童会・クラブ・学校行事の充実 4 集団アセスメント調査の活用

地域と歩く学校づくり

- | | |
|-------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 家庭・地域との連携 (国版CS発足)
3 CS委員、保護者による学校評価 | 2 学校支援ボランティアとの連携
4 四中校区幼・保、小、中との連携 |
|-------------------------------------------|---------------------------------------|